

令和8年度

「運営に関する計画」



大阪市立西三国学校

令和8年4月



## 1 学校運営の中期目標 【令和 1 1 年度末目標】

**現状と課題**

「学ぶ意欲をもち、人と豊かに関わるしなやかな子の育成」を学校教育目標として取り組んできた。

安全・安心な教育の推進については不登校児童への支援として、児童に寄り添い、家庭訪問や電話での関わりを続けているが、改善傾向が見られる児童はいるが、新たに不登校になっている児童もいる。引き続き、孤立しないような支援を行う必要がある。学校は児童の安全と成長を促進するために、今後も、児童一人一人に寄り添った指導を続ける必要がある。

未来を切り拓く学力・体力の向上については計算力の向上については朝学や子どもとの日など日常的な学習活動について見直しを行う必要がある。運動については、目標を下回っており。目標設定の基準を見直し、より児童の実態を明確に把握できるように改善するとともに、児童が運動する機会を確保するように努めていく。

学びを支える教育環境の充実について、教員の時間外勤務が昨年より減少しており、約 23 時間で校種別平均を 1 時間超えているものの、本校としては昨年度より 3 時間程の改善が見られる。ただ「勤務時間と業務量が合っていない」といった教員の実感から、さらに効率的な業務運営が必要である。

**中期目標****【安全・安心な教育の推進】**

○小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 85%以上にする。

○小学校学力経年調査における「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 65%以上にする。

○年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。

○児童虐待防止に関わる研修「研修受講シート」における「児童虐待を発見したり、疑いがある際には、ためらうことなく必ず通告を行いますか。」に対して、「はい」と回答する教員等の割合を 80%以上にする。

○小学校学力経年調査における「自分には、よいところがありますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合について 85%以上を保つ。

**【未来を切り拓く学力・体力の向上】**

○小学校学力経年調査における、算数の学力に課題の見られる児童（正答率が 3 割以下の児童）の割合を同一集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.5 ポイント減少させる。

○小学校学力経年調査で「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。」に対し、肯定的に回答する児童の割合を 80%以上にする。

○小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 85%以上に保つ。

○小学校学力経年調査における「毎日、同じくらいの時刻に寝て、同じくらいの時刻に起きること」が大切だと思う」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 80%以上にする。

**【学びを支える教育環境の充実】**

○小学校学力経年調査における「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週 3 回以上と回答する児童の割合を 50%以上にする。

○時間外勤務時間について、月平均 80 時間以上実施する教員をゼロにする。

○小学校学力経年調査における「読書は好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 65%以上にする。

## 2 中期目標の達成に向けた年度目標

### 【安全・安心な教育の推進】

- 小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を83%以上にする。
- 小学校学力経年調査における「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を62%以上にする。
- 年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。

### 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 小学校学力経年調査における、算数の学力に課題の見られる児童（正答率が3割以下の児童）の割合を同一集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.5ポイント減少させる。
- 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を76%以上にする。
- 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上に保つ。

### 【学びを支える教育環境の充実】

- 小学校学力経年調査における「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週3回以上と回答する児童の割合を45%以上にする。
- 時間外勤務時間について、月平均80時間以上実施する教員をゼロにする。
- 小学校学力経年調査における「読書は好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を62%以上にする。

評価基準 A：目標を上回って達成した B：目標どおりに達成した  
C：取り組んだが目標を達成できなかった D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成 状況
<p><b>【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】</b></p> <p>○小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を83%以上にする。</p> <p>○小学校学力経年調査における「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を62%以上にする。</p> <p>○年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗 状況
<p>取組内容① <b>【1-1 いじめへの対応】</b></p> <p>○学校安心ルールを指導のよりどころにして、いじめや仲間づくりに関する学習を実施することで、児童がいじめについて考える機会を継続的に確保するとともに、正しく理解できるようにする。また、児童が困ったときに、教職員集団全員で困り感を受け止め、丁寧に指導にあたる。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>○学校アンケート「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか」の項目で、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を85%以上にする。</p>	
<p>取組内容② <b>【1-1 いじめへの対応】</b></p> <p>生活指導部会での情報交換やスクールライフノートの心の天気、相談機能を通じて、児童の状況を総合的に把握し、児童がいつでも相談できる環境づくりに努める。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>○学校アンケート「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。</p>	
<p>取組内容③ <b>【1-2 不登校への対応】</b></p> <p>安全安心教育部会を中心に、校内の状況を児童ボードやスクリーニング会議の結果を活用して共通理解を行い、第三者機関との連携も含めて組織的に対策を講じる。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>○年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。</p>	
<p>取組内容④</p> <p>ハッピーポストや西三国ゲーム大会など、児童がポジティブな視点で日々の学校生活を振り返ったり、学級の仲間との協同を通して、目標を達成する経験を重ねたりすることを通じて、児童の自己肯定感や自己有用感の向上をはかる。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>○学校アンケート「自分には、よいところがありますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を87%以上にする。</p>	

評価基準 A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</b></p> <p>○小学校学力経年調査における、算数の学力に課題の見られる児童（正答率が3割以下の児童）の割合を同一集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.5ポイント減少させる。</p> <p>○小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を76%以上にする。</p> <p>○小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上を保つ。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容① <b>【基本的な方向4、誰一人取り残さない学力の向上】</b></p> <p>○1日に1回以上、教育情報利用パソコンを活用し、個に応じた学力の定着を図る。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>○学校アンケート「授業で学習の内容がわかる。」に否定的に回答する児童の割合を8%以下にする。</p>	
<p>取組内容② <b>【基本的な方向4、誰一人取り残さない学力の向上】</b></p> <p>○1日に1回以上ペア、グループ、全体での話し合い活動を取り入れ、主体的・対話的で深い学びの視点から学習展開の工夫を図る。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>○学校アンケート「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている。」に肯定的に回答する児童の割合を82%以上にする。</p>	
<p>取組内容③ <b>【基本的な方向5、健やかな体の育成】</b></p> <p>○年間指導計画に沿って効果的な学習カードの準備をし、年間3回以上活用する。</p> <p>○基礎体力向上のため短時間で心拍数の上がる準備運動を取り入れる。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>○学校アンケート「運動が好き」に肯定的に回答する児童の割合を87%以上にする。</p>	

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】</b></p> <p>○小学校学力経年調査における「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週3回以上と回答する児童の割合を45%以上にする。</p> <p>○時間外勤務時間について、月平均80時間以上実施する教員をゼロにする。</p> <p>○小学校学力経年調査における「読書は好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を62%以上にする。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容① <b>【6-1 ICTを活用した教育の推進】</b></p> <p>授業において言語活動を充実させたり、学習者用端末などのICT機器を活用したりして、主体的・対話的で深い学びにつながる学習を実施する。また、デジタルドリルで復習したり、アプリで学習したりすることで学習者用端末を活用するようにする。</p> <p>指標</p> <p>○学校アンケート「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」の項目で1週間の中で3回以上活用していると答える児童の割合を50%以上にする。</p>	
<p>取組内容② <b>【7-1 働き方改革の推進】</b></p> <p>ゆとりの日を週1回程度、月4回以上設定する。また会議や業務の精選を行うとともに、定例会議が円滑に進むように、各自で事前に案件を確認し、チーム会やなかよし会等で意見交換を密に行う。またスクールサポートスタッフを活用することで教職員の負担軽減を図り時間外勤務の削減に努める。</p> <p>指標</p> <p>○時間外勤務時間が月平均80時間以上となる教員を0にする。</p>	
<p>取組内容③ <b>【8-2 「大阪市子ども読書活動推進計画」に基づいた取組】</b></p> <p>学校図書館を活用できるよう地域の読み聞かせボランティアさんと連携したり、図書委員会において読書が好きな児童を増やす取組を工夫したりすることにより、児童が読書に親しむ環境の充実を図る。</p> <p>指標</p> <p>○学校アンケート「読書が好き」に肯定的に回答する児童の割合を65%以上にする。</p>	